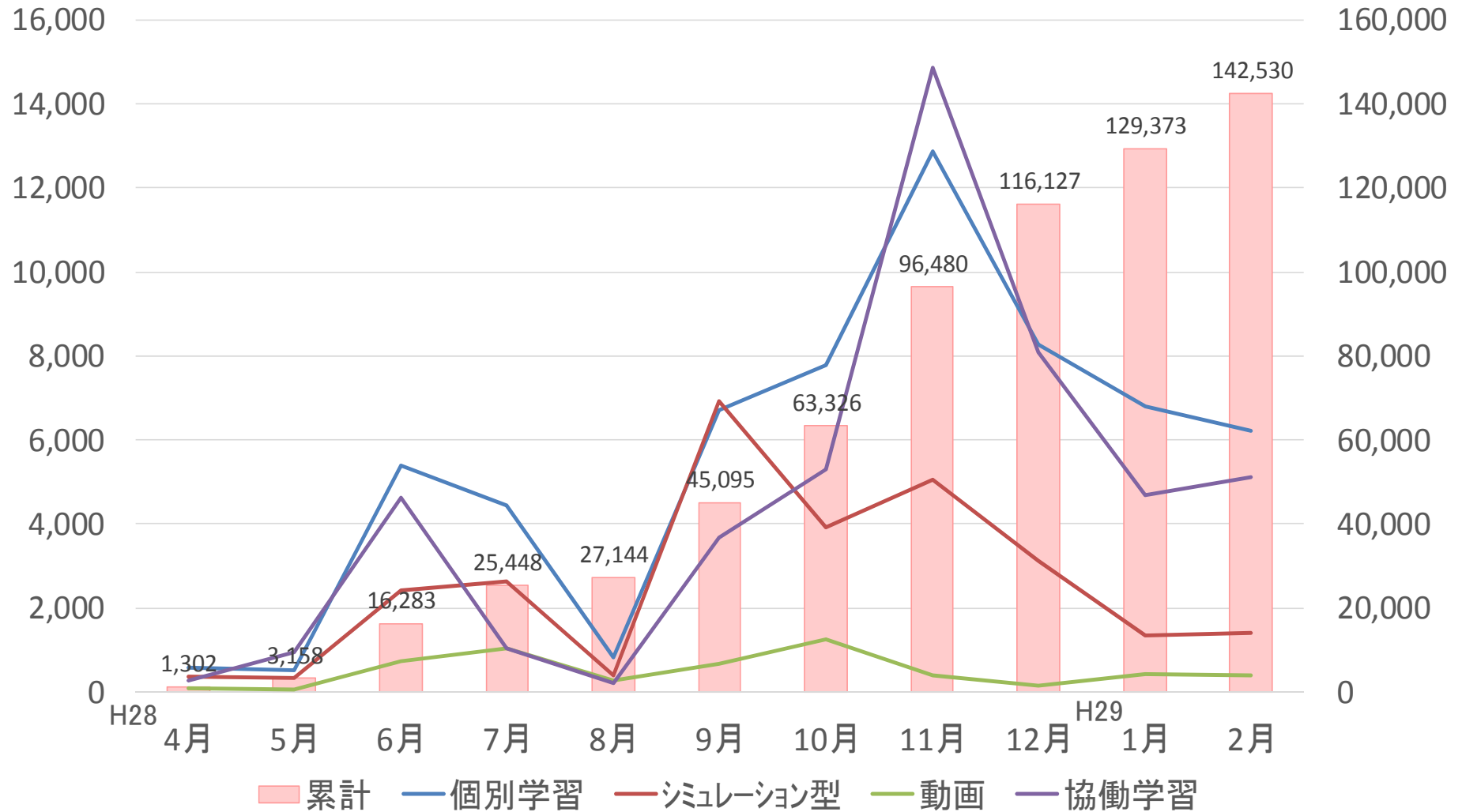


# コンテンツ利用状況（累計と種類別のアクセス数の推移）

資料4

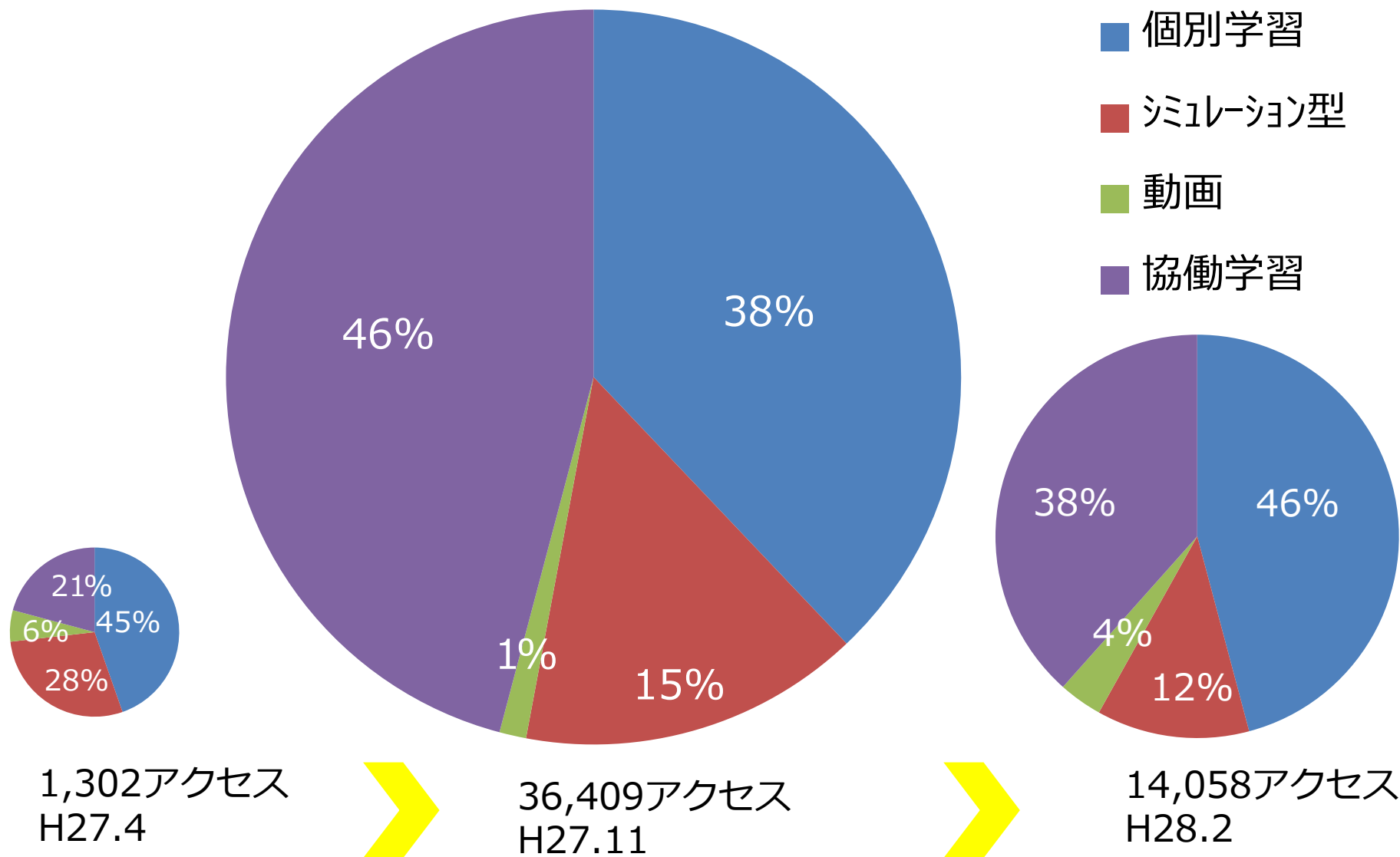
[種類別アクセス数(折線)]

[累計アクセス数(棒)]

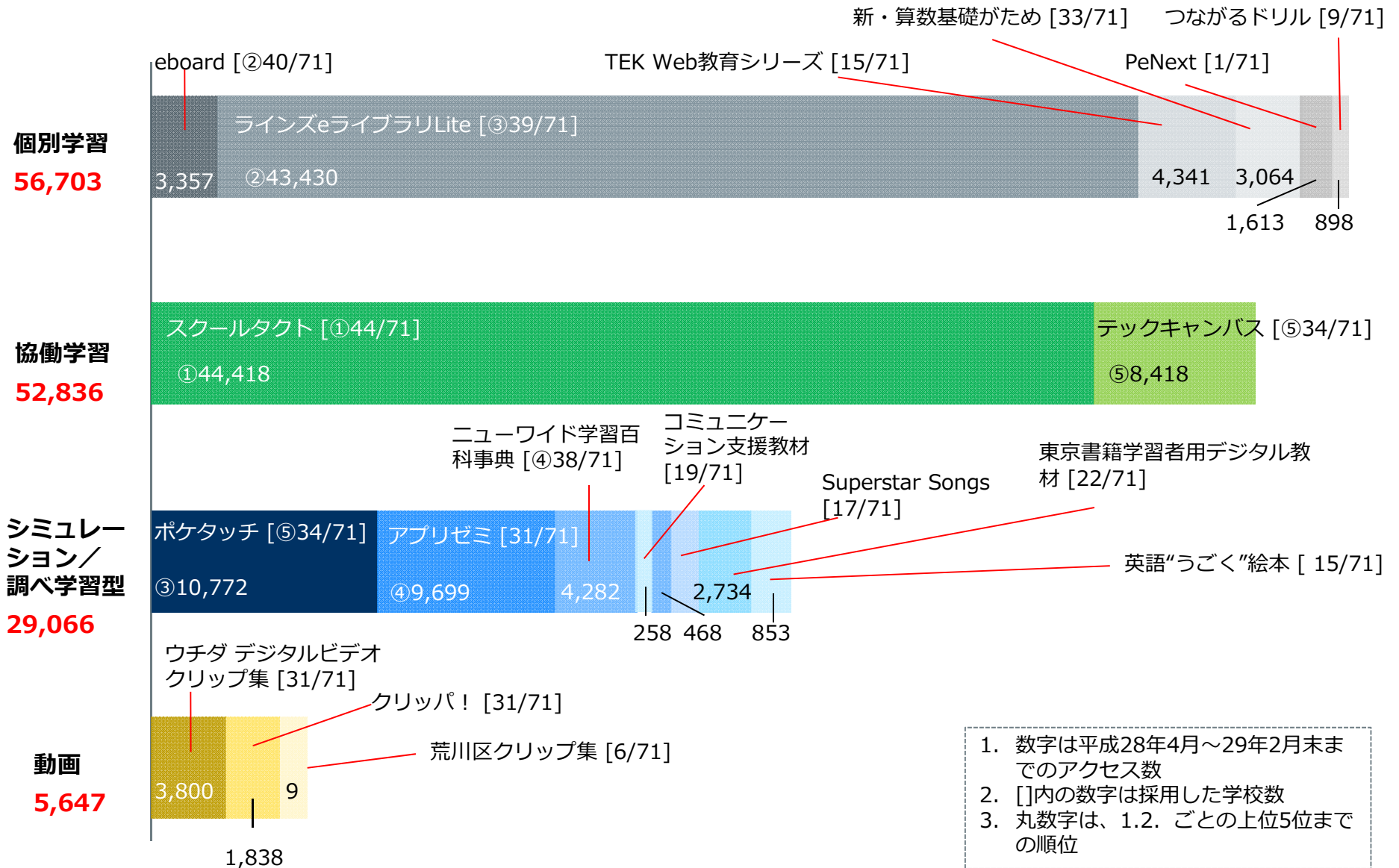


# コンテンツ利用状況（月ごとの推移）

- 1学期(4月)に比べ、2学期、3学期にはコンテンツのアクセス数が10倍～28倍まで増加
- 当初、個別学習コンテンツ(ドリル)中心の利用であったが、その後、協働学習コンテンツの利用が拡大。授業の中でのアクティブ・ラーニング等に活用。



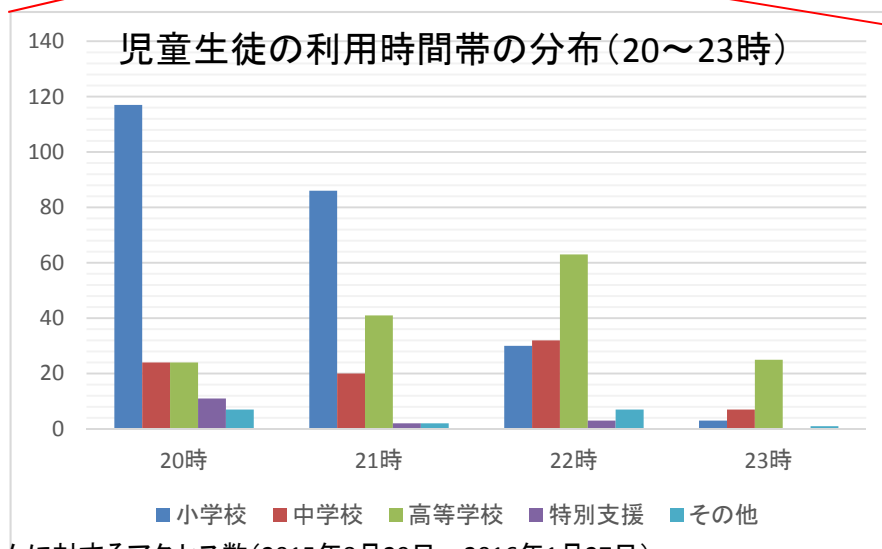
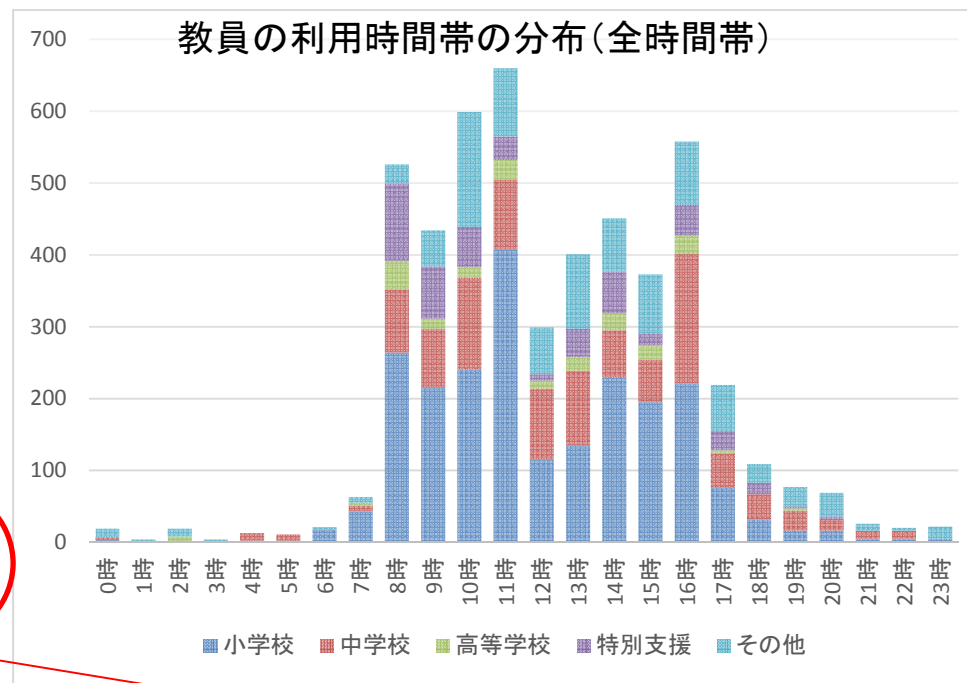
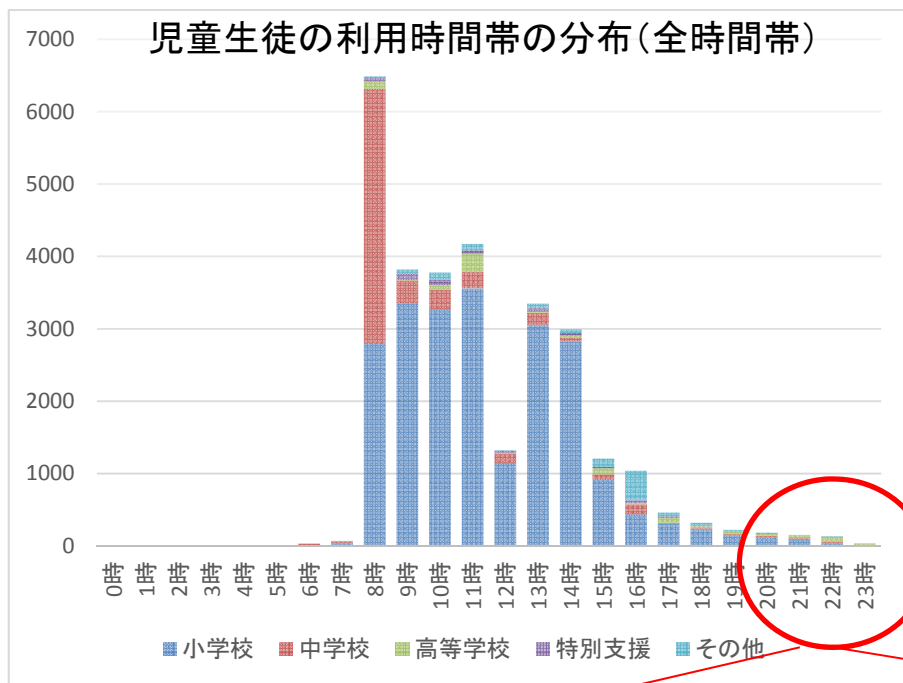
# コンテンツ別の利用状況



1. 数字は平成28年4月～29年2月末までのアクセス数
2. []内の数字は採用した学校数
3. 丸数字は、1.2. ごとの上位5位までの順位

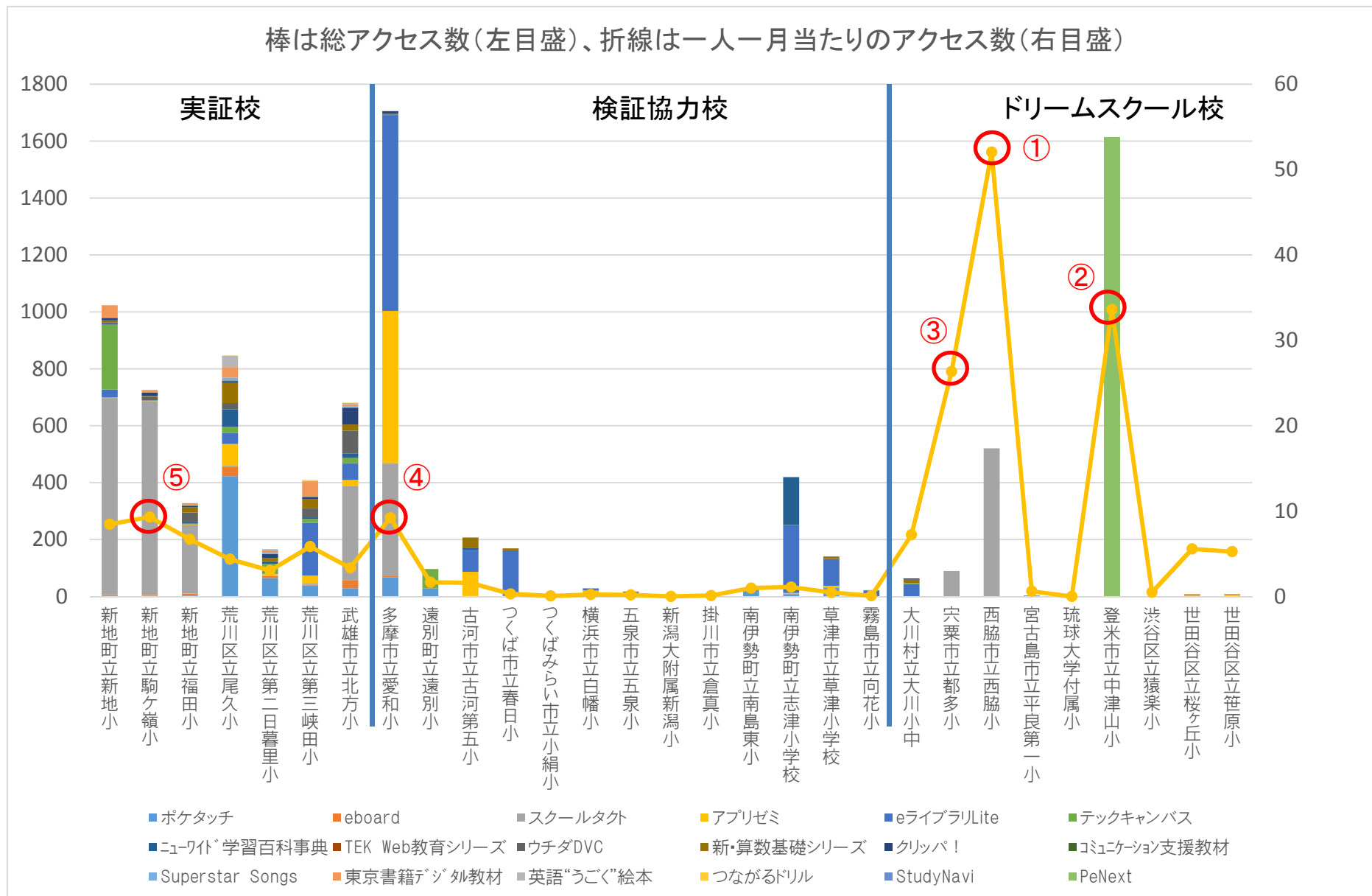
※東京書籍学習者用デジタル教材、PeNextは昨年9月から利用可能。  
つながるドリルは本年1月から利用可能

# コンテンツ利用状況（利用時間帯）



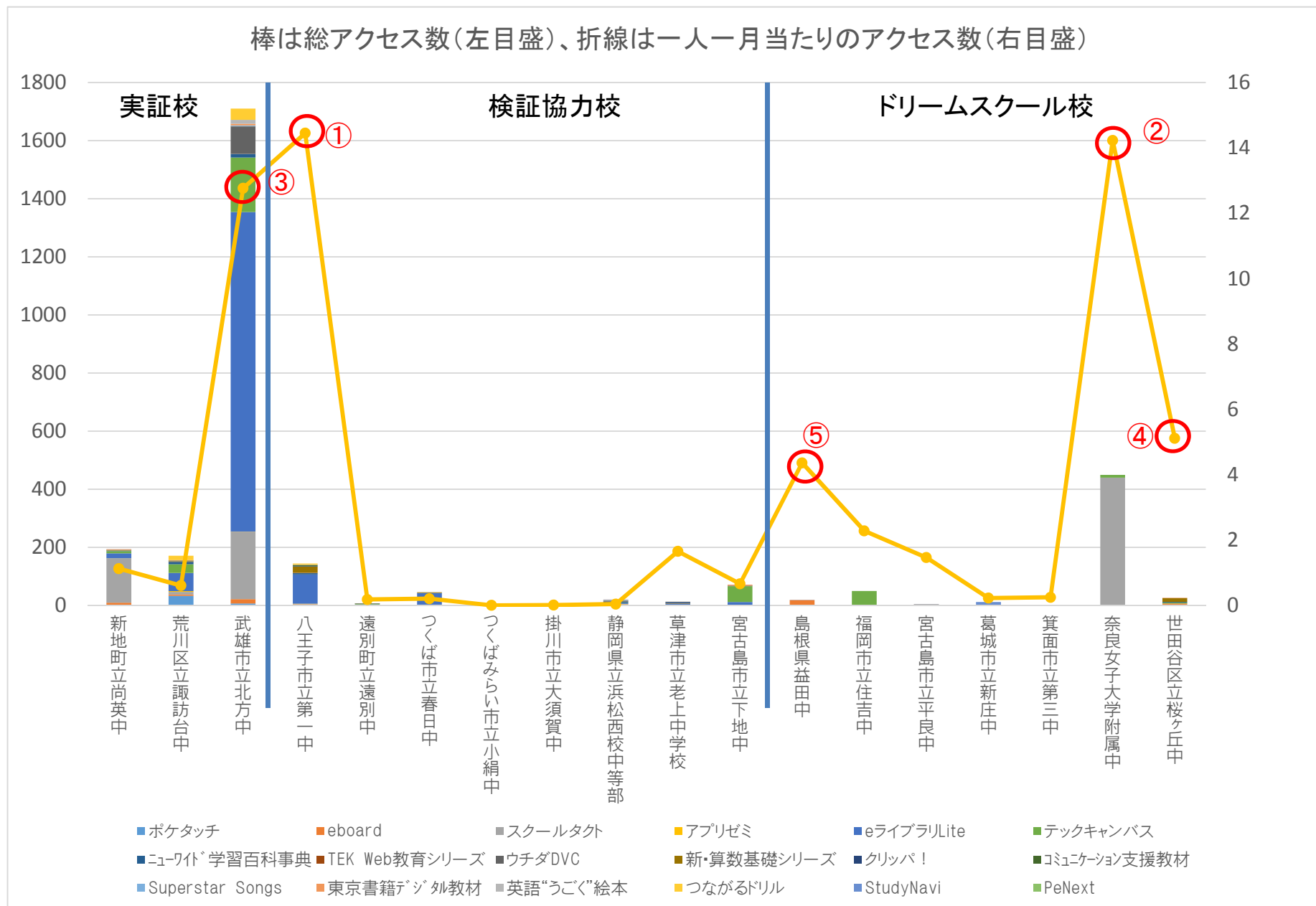
※ 左目盛は教育クラウドプラットフォームに対するアクセス数(2015年8月29日～2016年1月27日)

# コンテンツ利用状況（小学校）



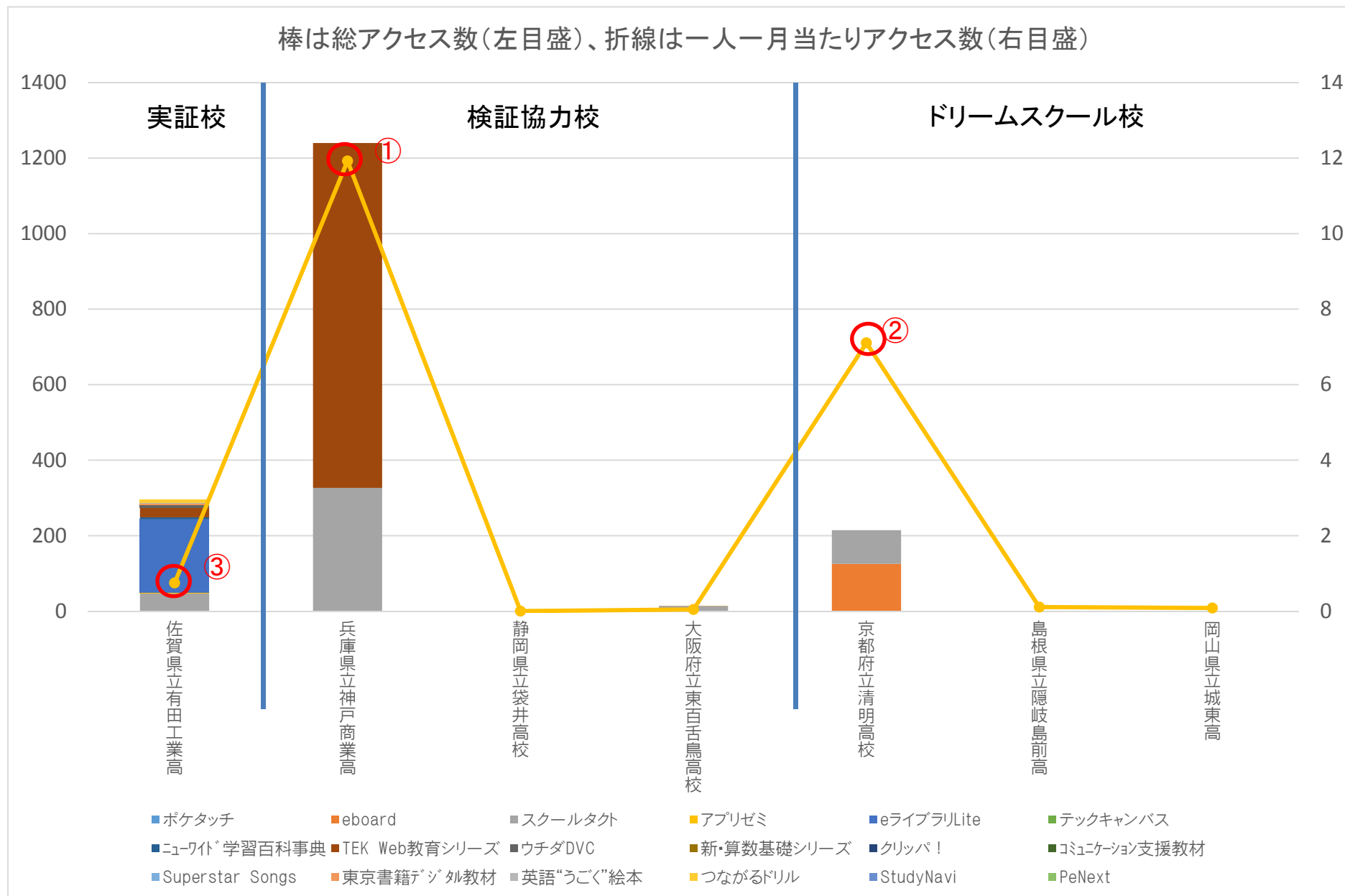
※実証校はコンテンツを上限なく利用可能。検証協力校は一定の枠内で利用(通常2~3コンテンツ)  
ドリームスクール校も、各プロジェクトの実証に必要なコンテンツに限り利用(通常1コンテンツ)。

# コンテンツ利用状況（中学校）



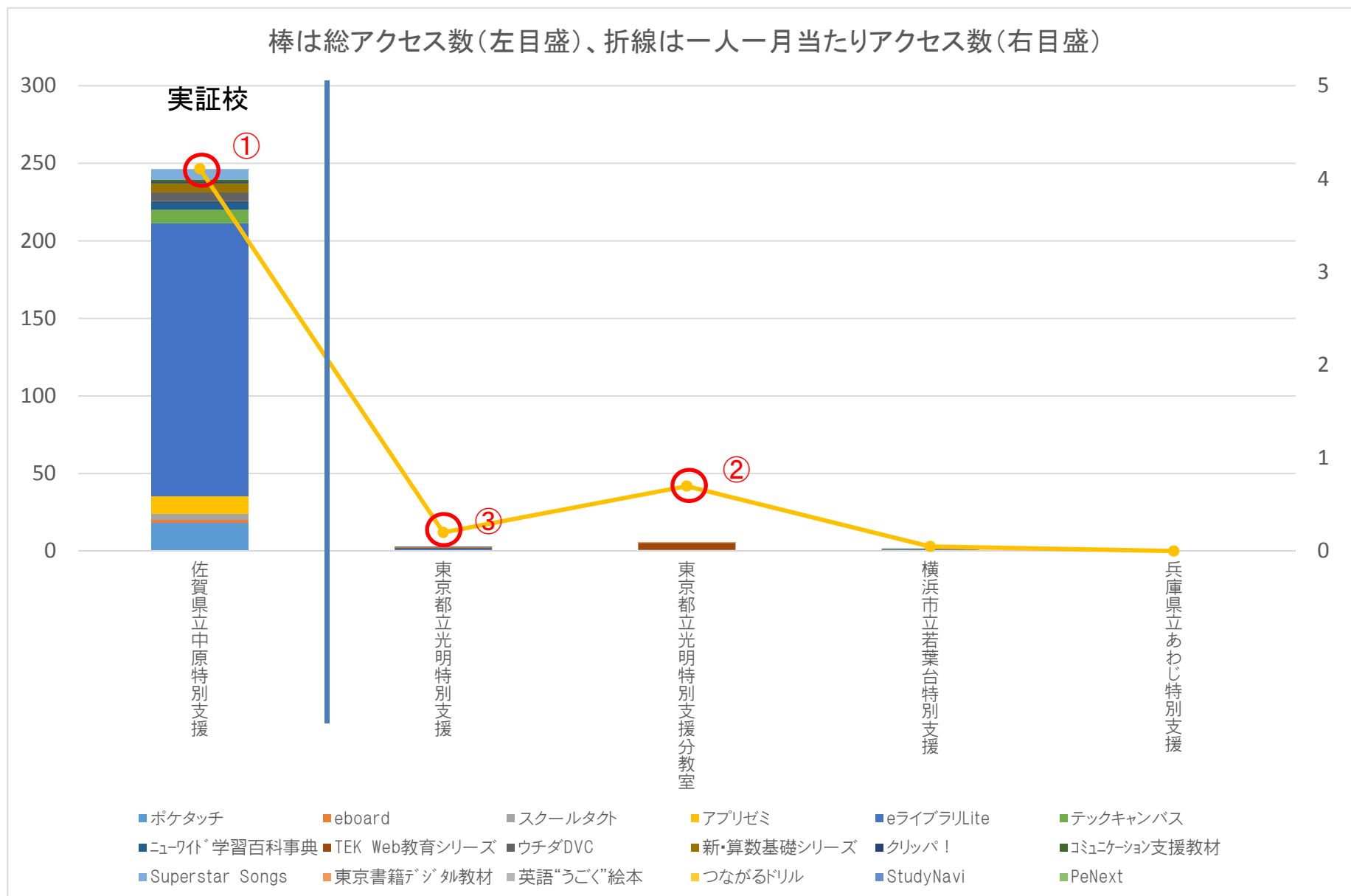
※実証校はコンテンツを上限なく利用可能。検証協力校は一定の枠内で利用(通常2~3コンテンツ)  
ドリームスクール校も、各プロジェクトの実証に必要なコンテンツに限り利用(通常1コンテンツ)。

# コンテンツ利用状況（高校）



※実証校はコンテンツを上限なく利用可能。検証協力校は一定の枠内で利用(通常2~3コンテンツ)  
ドリームスクール校も、各プロジェクトの実証に必要なコンテンツに限り利用(通常1コンテンツ)。

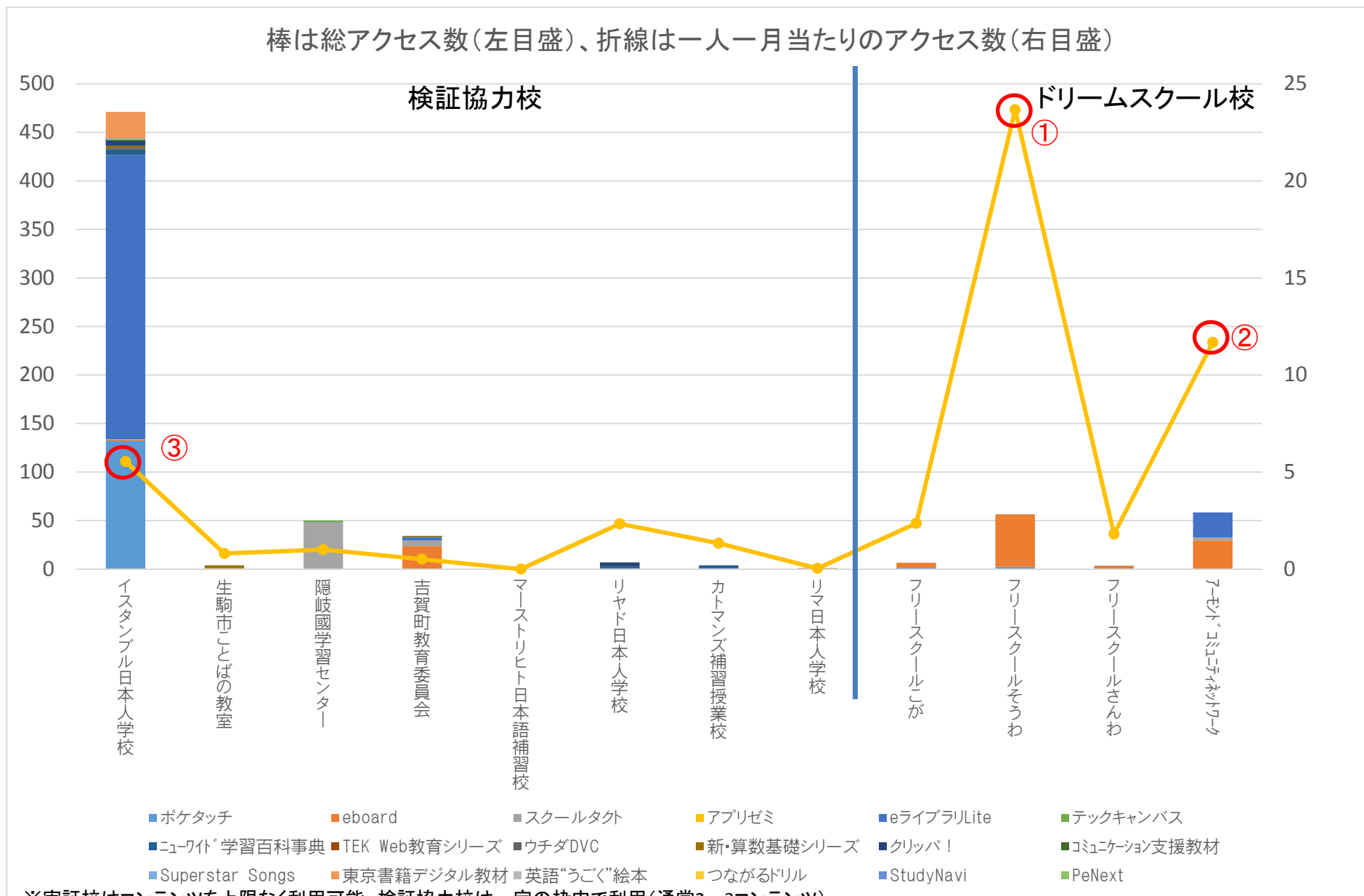
# コンテンツ利用状況（特別支援学校）



※実証校はコンテンツを上限なく利用可能。検証協力校は一定の枠内で利用(通常2~3コンテンツ)  
 ドリームスクール校も、各プロジェクトの実証に必要なコンテンツに限り利用(通常1コンテンツ)。



# コンテンツ利用状況（その他）



※実証校はコンテンツを上限なく利用可能。検証協力校は一定の枠内で利用(通常2~3コンテンツ)  
 ドリームスクール校も、各プロジェクトの実証に必要なコンテンツに限り利用(通常1コンテンツ)。